

新型コロナウイルス 感染症対応

皆様に安心してご利用いただけるよう
様々な取り組みを実施しています。

安心・安全のために

感染予防ご協力のお願い

お客様とスタッフの安全を確保し、安心してご利用いただけるように感染予防にご協力をお願いいたします。



マスク着用をお願い

店内ではマスクの着用をお願いいたします。



アルコール消毒をお願い

入店時の手指消毒にご協力ください。(アルコールをご用意しております)



列間隔の確保

お並びの際は列間隔の確保にご協力ください。



約5～10分で全ての空気を入れ替えています

独自の空調システムで換気を強化しております。そのため、自動ドアは作動しております。

※一部の店舗は、立地・店内環境の違いにより、換気時間が異なります。



非接触支払いの推奨

レジでの会計が早く、金銭の受け渡しが無い「電子マネー」「クレジットカード」「ドトール バリューカード」などのキャッシュレス決済をお勧めしております。(金銭トレーを使用させていただきます)



体調不良時のご利用

体調不良の際は店舗のご利用をお控えください。

より使いやすく、便利に

クレジットカード決済サービス導入開始

店舗でのお支払いは現金以外にも、DVC (ドトール バリューカード) やDVCアプリ、各種クレジットカードやコンタクトレス決済 (サインレス決済) などにご利用いただけるよう、順次導入を進めております。

- VISAのタッチ決済
- Mastercard®コンタクトレス
- JCBコンタクトレス
- アメリカン・エクスプレス・コンタクトレス

※店舗によってご利用可能な決済方法が異なりますので、店頭でご確認ください。

クレジットカードでも



アプリでも



● 9月から導入開始! ●

ドトール イーギフト

「ありがとうございます、一杯を添えて。」500円から気軽に贈れるデジタルギフトです。

対象店舗: ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェ、カフェ レクセル



チケットレストラン タッチ



従業員の食事補助として導入企業が増えている電子食事カードの取り扱いを開始しました。

対象店舗: ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェ、カフェ レクセル

新たなトレンド“巣ごもり消費”におすすめ商品

外出自粛、在宅学習、テレワーク等の浸透で、ご家族と一緒に自宅で過ごす方が多くなりました。

ドトール・日レスホールディングス傘下のブランドにも、そうした“巣ごもり需要”に合致した商品がたくさんあります。

この機会にぜひお試しください。

「コーヒーヒストリーツアー」

自宅にしながら
世界旅行

「豊かな香り広がるカフェショコラ」 「カリッとサクサク食感マカロンクッキー」

発売日 2019.9～
販売店 マルエツ、イトーヨーカドー、サミット
ほか全国のスーパー、ドラッグストア
価格 198円(税抜)

菓子メーカーとタイアップしたドトールブランド商品。くちどけや食感にこだわった絶妙なおいしさは幅広い層に人気です。

お手頃ファミリー
サイズ



「手包みビザ (3種のチーズとベーコン)」

フリーザーの
常備品

発売日 2020.5～
販売店 サミット、ヤオコー、イトーヨーカドーほか全国のスーパー
価格 598円(税抜)

3個入りの個包装になっておりレンジアップで簡単に食べられるので、冷凍庫に常備しておいて軽食やお子様のおやつに最適と好評を得ています。



「JTFファームの無農薬野菜」

発売日 2019.8～
販売店 F&F各店、安心堂
価格 300～500円(税抜)

横浜市港北区にあるJTFファーム。園主・古川原さんが有機質肥料で土づくりからこだわった、新鮮とれたての無農薬野菜をお届けしています。



旬の露地野菜
をお届け



もっちり食感
グルテンフリー



「米粉パン」

発売日 2020.7～
販売店 F&F各店
価格 180円～520円(税抜)

サンメリーに新設したグルテンフリー専用工場で作っています。定番の食パンやバゲットからクリームパン、鳴門金時パン等バラエティーも豊富。

彩り豊かな
焼菓子ギフト

「安心堂sweets工房・ プティフルセック」

発売日 2020.7～
販売店 安心堂
価格 3,240円(税込)

D&Nコンフェクショナリー製の11種類の焼菓子をぎゅーり詰め合わせたギフトボックス。一つずつ手作りして丁寧に焼き上げています。



株主優待制度のご案内

優待品

株主ご優待カード

ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェ、カフェ レクセル、ル・カフェドトールにてご利用いただけます。

100株以上 300株未満	300株以上 500株未満	500株以上
1,000円分	3,000円分	5,000円分

対象株主と贈呈時期

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年5月末から6月の贈呈を予定しております。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月に開催します。
基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日
そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。

1単元の株式数

100株
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

公告掲載方法 電子公告により行います。(ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

電子公告アドレス <http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html>

株式会社ドトール・日レスホールディングス

URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号

TEL 03-5459-9178(代表)



DNREPORT Vol.22

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2021年2月期 第2四半期報告書 証券コード: 3087



株主の皆様へ

新しい生活様式への適応を進め
既存事業の再構築を図る

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への格別なご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日～同年8月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、予期せぬ社会不安が増大し、国内においても消費活動が一気に冷え込んだ結果、先行き不透明感が高まり、景気は急速に悪化しました。また、政府による経済対策などもあり、緊急事態宣言下の最悪期からは徐々に回復傾向がみられるものの、雇用情勢改善の流れも急激に変化し、悪化傾向が鮮明となっていることから、消費低迷が長引くことは避けられない見通しとなっております。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大はこれまでの常識を覆し、過去と比較できないほど大きな影響を受けました。店舗においては、政府の緊急事態宣言に伴い、お客様や店舗スタッフの安全を第一に、営業自粛や営業時間の短縮など多くの店舗が通常の営業活動を控えたほか、緊急事態宣言解除後は、感染拡大防止策を実施しつつ、営業を再開したものの、在宅勤務の増



代表取締役会長 大林 韶史 代表取締役社長 星野 正則

加や消費者の不要不急の外出自粛は継続し、また外食から内食への急激なシフトも見受けられ、経営環境はより一層厳しくなり、予断を許さない状況が継続しております。

このような状況のもとで、当社グループは、「外食産業におけるエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指し、立地を厳選してグループ全体で41店舗（直営29店舗、加盟店12店舗）を新規出店しました。

既存事業においては、ブランド価値向上を目指した店舗改装を推進したほか、店舗におけるテイクアウトメニューや売店商品の拡充、また量販店などを中心とした卸売事業の拡大など、消費の変化にあわせた取組みを優先実施しました。また、物流や購買の見直しを図り、業務の効率化を推進するとともに、徹底した管理コストの削減など、事業基盤の安定強化に努めました。

しかしながら、店舗休業や営業時間の短縮などが影響し売上は激減、また人件費や家賃などの固定費が収益を圧迫したことで前年実績を大きく下回ることとなり、当第2四半期連結累計期間においてコロナ関連の特別損失19億88百万円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高442億78百万円（前年同期比33.8%減）、営業損失32億27百万円（前年同期営業利益62億47百万円）、経常損失32億4百万円（前年同期経常利益61億50百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失58億39百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益38億74百万円）となりました。

当社グループでは、国内既存事業の安定成長と新業態などによるグループシナジーの創出、そして海外事業展開の拡大などによる成長加速に邁進し、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2020年3月1日から 2020年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2019年3月1日から 2019年8月31日まで
売上高	44,278	66,908
売上総利益	24,732	40,639
営業利益又は営業損失(△)	△3,227	6,247
経常利益又は経常損失(△)	△3,204	6,150
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,350	6,058
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,827	3,897
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,839	3,874

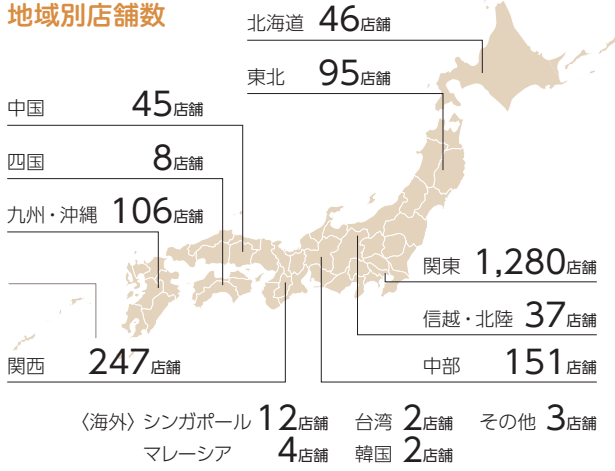
連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 2020年8月31日現在	前連結 会計年度末 2020年2月29日現在
資産の部		
流動資産	44,397	54,453
固定資産	76,925	76,589
資産合計	121,323	131,042
負債の部		
流動負債	14,376	17,642
固定負債	7,291	7,260
負債合計	21,667	24,903
純資産の部		
株主資本	99,362	105,897
その他の包括利益累計額	94	50
非支配株主持分	197	191
純資産合計	99,655	106,139
負債及び純資産合計	121,323	131,042

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 2020年3月1日から 2020年8月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2019年3月1日から 2019年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,270	5,325
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,907	△2,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,153	△1,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,889	34,106

会社データ(2020年8月31日現在)



業態別店舗数(国内)

業態名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,094	896
星乃珈琲店	264	35
洋麺屋 五右衛門	197	—
エクセルシオール カフェ	124	23
カフェ コロラド	41	40
サンメリー	40	—
その他	255	2
合計	2,015	996

※海外店舗数:23店

News ドトールコーヒーショップ40周年

1980年、ドトールコーヒーショップは立ち飲みスタイルのコーヒーショップとして原宿にオープンしました。当時のブレンドコーヒーは1杯150円。毎日飲んでもお客様の負担にならない価格という考えから設定したものでした。それから40年、これからも、感謝の気持ちを込め、一杯のおいしいコーヒーを通じて、お客様にやすらぎと活力をお届けしていきます。変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

会社概要

社 名	株式会社ドトール・日レスホールディングス
設 立	2007年10月1日
資 本 金	10億円
従 業 員 数	2,809名(連結)
本 社	東京都渋谷区猿楽町10番11号 03-5459-9178(代表)
事 務 所	東京都渋谷区神南一丁目10番1号 03-5459-9178(代表)
U R L	http://www.dnh.co.jp

取締役および監査役

●取締役		●監査役	
代表取締役会長	大林 韶史	常 勤 監 査 役	川崎 嘉範
代表取締役社長	星野 正則	常 勤 監 査 役	反田 秀幸
常 務 取 締 役	竹林 基哉	(社外)監査役	浅井 廣志
常 務 取 締 役	天間 靖之	(社外)監査役	松本 省藏
取 締 役	橋本 邦夫		
取 締 役	菅野 眞博		
取 締 役	合田 知代		
取 締 役	関根 一博		
(社外)取締役	河野 雅治		
(社外)取締役	大塚 東		

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	45,609,761株
株 主 数	46,047名

●大株主	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 韶史	6,771	15.32
株式会社マダム・ヒロ	3,732	8.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,120	7.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,512	3.42
鳥羽 博道	1,430	3.23

※持株比率は自己株式(1,395千株/3.06%)を控除しております。

●所有者別株式分布



連結決算ハイライト

第2四半期決算のポイント

- ➡売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収での着地
- ➡管理コストの低減に努めるも、人件費や家賃などの固定費が収益を圧迫し、コロナ関連の特別損失を計上

